

2022年7月吉日

第4回全国高校生英語ディベート大会エッセイコンテスト 審査結果

一般社団法人全国高校英語ディベート連盟  
(HENDA)

このたびは第4回全国高校生英語ディベート大会エッセイコンテストにご応募いただきましてありがとうございました。またコンテストへの様々なご支援、とりわけ顧問の先生方に厚く御礼申し上げます。今回のコンテストの三つの部門への応募の内訳は以下の通りです。

A) 英語コミュニケーション部門	7作品	
B) 論題部門	14作品	
C) Make-Friends部門	21作品	応募総数 42作品

厳正な審査の結果、次の方々の作品を入賞としました。受賞されたみなさま、おめでとうございます。

最優秀賞1名（全部門より1名）

田島 帆奈.	渋谷教育学園幕張高等学校	(C部門)
--------	--------------	-------

優秀賞3名（各部門1名）

細田 陽南	浜松西高校	(A部門)
渡邊 杏樹	静岡県立三島北高等学校.	(B部門)
松本 清花	佐世保北高等学校	(C部門)

優良賞3名（各部門1名）

松本 唯楓	岩手県立一関第高等学校.	(A部門)
ガーナーアンジェリー すみれ	さいたま市立浦和高等学校	(B部門)
三木 綾華	創価高等学校	(C部門)

第4回のエッセイコンテストに応募くださった皆さん、ありがとうございました。

今回も、採点者を悩ます力作が多数集まりました。入賞されなかった皆さんの作品も説得力のあるものばかりでした。

3部門どの部門も、チームとして取り組んだプロセスが滲み出るものが多かったように思います。

コロナ禍で、昨年に続き2度目のオンラインでの大会となり、活動がままならず、チームで励まし合い乗り越えたことがエッセイの中でもよく分かりました。コロナ禍でも、コロナ禍だからこそ、チームで活動する意味、また他校の生徒とMake friendsの精神を互いに磨き合うことの意味をより感じられたことが、どの作品にも溢れていました。

9～10ヶ月間、首都機能移転について真剣に議論し、未来に思いを馳せた皆さんの取り組みはもちろん、サポートされた先生方、家族の方々に、敬意を持たずにはられません。皆さんのエッセイから、私たちは改めて大会の意義を感じた次第です。

2022年度も、全国大会はオンラインでの実施が決まっていますが、出口はもうすぐです。ディベートで成長する次の代の高校生たちの動きはすでに始まっています。また新たな成長とドラマが生まれることを期待しています。次回の応募を楽しみにしております。

改めて、この度はご参加ありがとうございました。